

第6学年2組 学級活動学習指導案

平成25年6月13日(木) 第5時限 6年2組教室
指導者 佐々木 幸歩

1 単元名 うれしい!たのしい!大好き!
～みんなが楽しい学校にDreams Come True～

2 単元の目標

- みんなが楽しい学校にするために進んで話し合い活動に参加することができる。
- 最高学年として、リーダーシップを発揮し、協力して活動することができる。
- 縦割り班活動を通して自信をもち、経験したことを学級や学校生活の中で生かすことができる。

3 単元について

近年、人間関係の希薄さが進み、社会性の未熟さがいじめや不登校の原因となっており、協力してよりよい生活を築くことができないと言われている。本校では、縦割り班活動が行われているが、年間行事で決められた活動しか行っておらず、6年生を送る会でプレゼントを作成しても名前が分からなかったり、思い出が乏しかったりする。本学級の子どもたちは、6年生となり、「最高学年としてがんばりたい」「みんなにやさしくしたい」という思いをもっている。しかし、自信がなく、思いをもっているが、なかなか進んで行動することができない子が多い。また、クラスや学年の友だちと仲良く遊ぶことができるが、男女間で距離があり、なかなか関わりをもとうとしない子もいる。さらに、異学年の子と遊ぶ機会が少なく、1年生との交流や初めての縦割り班活動ではどう接していったらいいかわからない子や、班の子をまとめて活動を進めていくリーダーシップが取れない子もいた。

縦割り班活動では、そのような子たちの下学年への思いやりやリーダーシップの発揮を期待できる。また、自分たちが行ったことが、下学年のあこがれにつながり、それを感じることで、自信をもつこともできると考えた。そこで、みんなが楽しい学校を目指し、縦割り班活動を行うことで、他人を思いやる心や社会性を育みたい。そして、縦割り班活動を企画、運営していく中で、互いに認め合い、協力し、自信をもてるようになってほしいと考え、本単元を設定した。

「全校のみんなが楽しい学校をつくろう」をテーマにどんな6年生になりたいかを話し合った。すると、「下級生のお手本になる」という意見が多く、楽しい学校にするために具体的な活動として、①縦割り班活動②行事③委員会の3つを全力で取り組むことになった。中でも、縦割り班活動を増やしていきたいという思いが強く、どんな縦割り班活動をしていきたいかの話し合いでは、縦割り班遊び、ペア学年遊び、縦割り班給食などの意見が出た。そこで、意見の多かった縦割り班遊びを中心に置き、行事や委員会活動を絡めながら全校のみんなが楽しい学校づくりをしていくことにした。まず、ペア学年である1年生と交流を通して、異学年と触れ合うことの楽しさや喜びを感じさせたい。異学年交流の楽しさを感じられるようになったところで、全校の縦割り班遊びへとつなげていく。縦割り班遊びでは、6年生が遊びを考え、活動を進めていく。その中で、下学年が言うことを聞いてくれない、うまく活動ができないなどの課題が生まれてくるであろう。その課題を、話し合いを通して解決し、試行錯誤しながら活動してほしい。活動を重ねるごとに、班のみんなが仲良くなっていくことや活動がうまくいくようになり、活動の内容も自分の班だけの遊びから他の班との関わる活動へと広げていく。そして、自分たちの活動で全校のみんなを楽しませることや頼られることの喜びを感じさせたい。さらに、一緒に活動してくれた下学年への感謝だけでなくこれまでお世話になった卒業生への感謝も感じることで、自分たちの成長をふり返り、自信をもつことができるようにさせたい。

本時では、前時の縦割り班遊びの活動の振り返りで出た、クラスのみんなが困っていることについて解決策を話し合っていく。工夫していた班や困らなかった班がどのようにしていたのかを紹介しながら解決策を探る。解決策が見えたところで、みんなが話し合ったことを参考に次回の計画をしていく。みんなを楽しませることの難しさを感じながらも次回の縦割り班遊びへの期待をもたせていきたい。

本単元を通して、「全校のみんなが楽しい学校」に近づけられるように、試行錯誤しながら縦割り班遊びを行ってほしい。そして、「全校のみんなが楽しい学校」づくりを通して、異学年と交流することの楽しさ、最高学年としての自覚とリーダーシップを発揮できるようになることを期待する。さらに、自信をもっているいろいろなことに進んで取り組み、よりよい生活を築き、満足した思いで卒業式を迎えられることを願っている。

全校のみんなが楽しい学校をつくろう

○どんな学校にしたいか、どんな6年生になりたいか話し合う。①

行事

- ・自分たちが盛り上げていきたい。(丈維)
- ・社会見学を復活させたい。(太一郎)

縦割り班活動

- ・もっと活動を増やしたい。(李那)
- ・いろいろな学年の子と仲よくなりたい。(友結)

委員会

- ・学校のために進んで動いていきたい。(有生)

楽しい縦割り班活動にしたいな①

縦割り班給食

- ・いろいろな学年の子と給食を食べてみたい。(友結)

縦割り班遊び

- ・全校のみんなと遊びたい。(丈維)
- ・遊びを通して、全校のみんなを楽しませたい。(翔太)

ペア学年遊び

- ・1年生と遊びたい。(伶奈)
- ・1年生に優しくしてあげたい。(咲良)
- ・名前を覚えてもらいたい。(琴女)

□最高学年として、学校を引っ張っていく意識や意欲がもてるようにどんな学校にしていきたいか、どんな6年生になりたいかを学年で話し合う場を設ける。

□みんなが楽しめる縦割り班活動で何が出来るか考えられるように、今までの縦割り班活動をふり返る場を設ける。

□1年生と遊ぶイメージがもてるように、顔合わせをした時の様子をふり返るように伝える。

□話し合いで全員が意見を言えるように、話し合いのルールを作る。
・一人一回は発言する。
・話は最後まで聞く。

□1年生が楽しめるように、事前にどんな遊びをしたいかアンケートなどで聞いて紹介する。

□次の活動につなげるために、遊んだ後に1年生に感想を聞くように声をかける。

※遊具の使い方や道具の使い方の注意を話し、安全面について配慮する。

◎自分の考えを話し、友達と協力して話し合いや準備を進めることができたか。(話し合いの様子)
◎1年生との交流を通して、思いやることの大切さに気付くことができたか。(日記)
◎1年生を楽しませることができたか、楽しさを感じることができたか。(日記)

□6年生の不安を軽減し、協力できるように2つの班を合体させて縦割り班遊びを行うようにする。

□自分たちが楽しい遊びではなく、全校のみんなが楽しいと思える遊びを計画できるように、全校にアンケートを取り、そこからどんな遊びをしていきたいか話し合っていく。

□遊びを知らない子が多いので、簡単にできる遊びを知らせるために、遊びを決める時に、遊びハンドブックを紹介する。

□縦割り班遊びができるように、進め方の流れを提示し、それに沿って進めていくようにする。

□困っている班がどんなことに気を付けたらよいか気付けるようにするために、うまくいった班の工夫したことを紹介する。

□6年生だけの自己満足にならないように、他学年の感想を提示し、もっとみんなが楽しめる方法を探すように促す。

◎自分が楽しいという思いだけでなく、みんなが楽しめるような工夫を進んで話し合うことができたか。(話し合いの様子)

◎困ったことやうまくいったことをクラスの人などと共有し、問題を解決していくことができたか。(話し合いや活動の様子)

◎班のみんなと協力して、楽しい縦割り班遊びになるように声をかけたり、ルール説明をしたりすることができたか。(活動の様子)

◎縦割り班遊びで、班のみんなが楽しめる遊びをすることの難しさや、みんなが楽しんでくれたことへの喜びを感じることができたか。(日記)



衣笠親子フェスティバルを成功させよう

○衣笠親子フェスティバルのブースを考える。①

○衣笠親子フェスティバルの準備をする。(図工②)

○1年生を自分たちのブースに招待する。(道徳①)



フール開き

○ペア学年と一緒に泳ぐ。(体育①)



修学旅行新聞を作ろう

○修学旅行新聞を作り、5年生に発表する。(国語②)

まず、1年生(ペア学年)と仲よくなろう

- 自己紹介をして遊ぶ。【なかよし集会】
- ・もっと仲よくなりたい。(真由子)
- 弁当と一緒に食べる。【給食の時間】
- ・たくさん話すことができたよ。(美月)
- ・もっと一緒に遊んだり、交流したりしたい。(伶奈)
- 校歌を教える。(音楽①)
- ・ありがとうって言ってもらえてうれしかったよ。(七海)
- 遊ぶ計画を立てる。【朝の学習の時間】
- ・1年生でも分かる簡単なルールの遊びがいいね。(裕哉)
- ・1年生が知っている遊びは何か。(太一郎)
- ・楽しんでくれるといいな。(翔馬)
- 一緒に遊ぶ。【昼の放課】
- ・楽しいって言ってくれてうれしかったよ。(亮)
- ・もっと1年生と遊んでいきたい。(勇亮)
- ・他の学年の子とも遊びたい。(翔太)

1年生と仲よくなれて、喜んでもらえたよに全校のみんなに楽しんでもらいたいね

次は縦割り班で全校のみんなを楽しませよう

- 第1回縦割り班遊びの計画を立てる。【朝の学習の時間】
- ・全校のみんなが知っている遊びがいいね。(李那)
- 第1回縦割り班遊びをする。【昼の放課】
- ・楽しいって言ってくれたよ。(成美)
- ・喜んでもらえてうれしかった。(丈維)
- 第1回縦割り班遊びをふり返る。①
- ・時間が余ったから、余らないようにルールを工夫したい。(聡二郎)

・男女がばらばらになったから、みんなでするように工夫したい。(友結)

○ルールやきまりを工夫して、縦割り班遊びの計画を立てる。【朝の学習の時間】

○第2回縦割り班遊びをする。【昼の放課】

- ・前よりスムーズにできたよ。(翔太)
- ・班の会話がが増えて、仲よくなってきたよ。(真由子)

○第2回縦割り班のふり返りをする。①

- ・楽しいって言ってくれる子が増えたよ。(成美)
- ・前回より話を聞いてくれたよ。(裕哉)
- ・つまらないと言われたよ。(太一郎)
- ・ルールが分かっている人がいたよ。(友結)

○第2回の縦割り班遊びで困ったことの解決策を話し合い、第3回の縦割り班遊びの計画を立てる。①(本時)

- ・楽しんでくれていると思ったけど、つまらないと思っている子もいたんだね。
- ・楽しませるためにもっと工夫をしないとイケないね。
- ・他学年に優しくして、遊びをしていきたいな。
- ・班のみんなにやりたい遊びを聞いてみたい。

○第3回縦割り班遊びをする。【昼の放課】

- ・4、5年生も楽しんでたよ。
- ・どうだったか感想を聞いてみたい。
- ・4月よりだいぶ仲良くなったよ。

○第3回縦割り班遊びをふり返る。①

- ・もっと楽しい縦割り班遊びにしたいな。

縦割り班活動(企画委員会)

○縦割り班で自己紹介をし、伝言ゲームをする。【なかよし集会】

あじさい読書週間(図書委員会)

○ペア学年(1年生)に読み聞かせをする。【朝の学習の時間】

全校草取り(環境委員会)

○縦割り班で運動場の草取りをする。【なかよし集会】



ドッジボール集会(運動委員会)

○全校の赤白対抗でドッジボールを行う。【昼の放課】

ペア歯みがき(保健委員会)

○ペア学年(1年生)に歯磨きの仕方を教え、一緒に歯みがきをする。①

もっといろいろな遊びでみんなを楽しませたいな

2学期



運動会

- 全校に応援合戦を教え、運動会を盛り上げる。(行事①)
- 応援合戦の練習をする。(行事①)

いもほり

- ペア学年でいもほりをする。(行事①)



焼きいも集会

- お家の人と一緒に焼きいもを食べる。
- 昔の遊びを一緒にやる。(行事③)

学芸会

- 伝統劇・江崎巡査物語を演じ、全校のみんなに伝統を伝える。(行事⑤)

スタンプラリー

- 縦割り班で協力して、それぞれのコースを回ってスタンプを集める。(行事②)

6年生を送る会

- 一緒に遊んでくれた下の学年や学校に対し、感謝の気持ちを伝える。(行事②)

謝辞会

- 今までお世話になった先生たちに感謝の気持ちを伝える。(行事①)

卒業式

- 感謝の思いをもって、卒業式に参加する。(行事③)

- 第4回縦割り班遊びの計画を立てる。①
 - ・班のみんな遊びを決めたい。
- 第4回縦割り班遊びをする【昼の放課】
 - ・優しく声をかけることができてよかった。
 - ・もっと楽しいルールにしたい。
- 第4回縦割り班遊びをふり返り、ルールやきまりを工夫して、縦割り班遊びの計画を立てる。①
 - ・前はスムーズにいったから、レベルアップしたルールにしたいな。
 - ・少しルールが難しかったから、もう少し簡単なルールに変えよう。
- 第5回縦割り班遊びをする【昼の放課】
 - ・みんなが楽しいって言ってくれてうれしかったよ。
 - ・班の仲が深まったよ。
- 第5回縦割り班遊びをふり返る。①
 - ・アンケートでドッジが人気だったから、縦割り班対抗でやってみたら楽しそうだね。

班のみんなと仲よくなったよ
違う班の子とも一緒に遊びたいな

<縦割り班対抗遊び>

縦割り班長むね

- 第6回縦割り班対抗遊びの計画を立てる。①
 - ・班の仲が深まったから、縦割り班対抗の遊びがしてみたいな。
 - ・ルールやきまりを工夫しないと、みんなが楽しめないよ。
 - ・どんなルールがみんなか聞いてみよう。

縦割り班ドッジボール

- 第6回縦割り班対抗遊びをする【昼の放課】
 - ・盛り上がってみんな楽しそうだったね。
 - ・みんなの感想を聞いてみたいな。

縦割り班玉入れ

- 第6回縦割り班対抗遊びをふり返る。①
 - ・みんなが楽しんでくれたね。
 - ・班のみんながもっと仲よくなったよ。
 - ・遊び以外の活動はできないかな。

縦割り班遊びを通して全校のみんなが仲よくなったね！これを5年生に引き継いでいって欲しいな

3学期

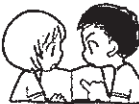
今度は5年生に教えてあげよう

- 第7回縦割り班遊びの計画を立てる。①
 - ・5年生と一緒に遊びを考えて、ルールを決めていきたい。
 - ・ルールやきまりをどう考えたらいいか教えてあげよう。
- 第7回縦割り班遊びをする【昼の放課】
 - ・5年生ががんばっていたよ。
 - ・ルールが少し難しく感じたよ。
- 5年生にアドバイスをする。①
 - ・大きな声で説明するといいよ。
 - ・低学年だけでなく、4年生も楽しめるルールを考えよう。
 - ・これなら5年生に任せても安心だね。
- 今まで行ってきた縦割り班遊びをふり返る。①
 - ・去年より縦割り班のみんなが仲よくなったよ。
 - ・最初はどううまくできなくて嫌だったけど、みんなにアドバイスをもらってうまくできるようになってすごく楽しかった。
 - ・班のみんなが喜んでくれてすごくうれしかったよ。
 - ・放課後にいろいろな学年の子が遊んでいるようになったよ。
 - ・来年も続けていって欲しい。



全校草取り
(環境委員会)

- 縦割り班で運動場の草取りをする。【なかよし集会】



長縄集会
(運動委員会)

- 赤白対抗で長縄を行う【昼の放課】



□いろいろな遊びで活動できるように、遊びハンドブックを参考にするように伝える。

□どの学年も楽しめる遊びになるように、他学年の感想を参考に遊びを決めたり、ルールやきまりを決めたりするように助言する。

□より楽しくスムーズに活動になるように、困ったことを共有したり、うまくいった班の話の聞いたりする時間を設ける。

- ◎班のみんなが楽しめる遊びやルール、きまりを考え、協力して活動することができたか。(話し合い、活動の様子)
- ◎活動を通して、班のみんなが楽しむ遊びを考えることの難しさや、班のみんなが楽しんでくれた喜びを感じる事ができたか。(日記)

□どの学年の子も楽しめるように、工夫したハンドブックのように助言する。また、ハンドブックと4、5年生から不満が出てくることにも気付けるように、前回の縦割り班遊びでハンドブックをつけて遊んだ班に遊んだときの様子を尋ねる。

□縦割り班対抗の遊びをうまく進められるように、縦割り班遊びでうまくいったリハーサルの有効性に気付けるようにする。

□どの子も運営に携われるように、交代して審判をするとよいことなどを助言する。

◎どの学年の子も楽しめるように工夫したルールを考え、進んで話し合いに参加することができたか。(話し合いの様子)

◎縦割り班対抗遊びがうまく進むように、積極的に運営に参加し、協力して活動することができたか。(活動の様子、ワークシート)

□自分たちが行ってきた、縦割り班遊びを来年も続けていって欲しいという思いがもてるように、今までの活動をふり返り、学校のみんなが楽しく活動していたり、学年を超えて仲よくなったりすることに気付けるようにする。

□今まで自分たちが困っていたことやうまくいったことなどの経験を生かせるように、5年生と一緒に縦割り班遊びを考えていく。

□5年生に頼りにされていることが感じられるように、5年生の悩みや困っていることを聞いたり、アドバイスをしたりする時間を設ける。

□全校のみんなが楽しいと思える学校になっているか気付けるようにアンケートをとる。

◎縦割り班遊びを通して、全校のみんなが楽しいと思える学校になっていることに気付くことができたか。(ワークシート)

◎学校のためにみんなのために働くことの楽しさ、みんなに頼りにされることの喜びを感じることができたか。(日記)

◎みんなで協力して、取り組んできたことで、やりがいを感じたり、充実感、満足感を味わったりすることができたか。(日記)

全校のみんなが楽しい学校になったね

5 本時の指導 (6/15)

(1) 目標

- 全校のみんなが楽しめる遊びになるように解決策を考え、次の縦割り班遊びの計画を立てることができる。
- 自分の考えを進んで発表することができる。

(2) 準備 教師・・他学年の感想をまとめたもの、ワークシート
児童・・縦割り班遊びファイル

(3) 展開

学 習 活 動	□支援 ◎評価 (方法) ※留意点
<p>○前時の活動をふり返り、話し合いのテーマを確認する。</p> <p>1回目よりできるようになったこともあったけど、困ったことがたくさんあったよ。次はみんなにもっと楽しんでもらいたいね。</p> <p>みんなにもっと楽しんでもらうために話し合おう</p>	<p>※前時までの活動内容が分かるように板書を教室に掲示し、今まで書いてきたプリントに朱書きを入れファイルに綴じておく。</p> <p>※話し合いがしやすいように、座席をコの字型にする。また、同じ班の子同士で相談などができるように、班の子を隣り同士で座る。</p>
<p>○前時にふり返った困ったことについて話し合う。</p> <p>【困ったこと①】遊びがつまらないと言われる。</p> <p>みんながやりたい遊びをしたらいい。アンケートをとったり、聞いてみたりしたらいいと思う。</p> <p>2つ遊びを考えておくと班の人が飽きた時にできるよ。</p>	<p>□話し合いが行き詰った時に、同じ班の子や近くの子と話し合う時間を設け、参考になった友達の意見を発表してもよいことを伝える。</p> <p>□意見が言いやすくなるように、3つの困ったことの解決策を自由に話し合わせる。</p>
<p>【困ったこと②】楽しめていない人がいる。</p> <p>低学年も高学年も楽しめるルールに工夫するといいよ。ハンデをつけたり、コートやチーム分けを工夫したりするといいかな。</p> <p>遊びのルールを少し変えたり、チームを変えたりすれば、楽しく遊ぶことができるんじゃないかな。</p>	<p>□次の遊びやルールを決めるときに参考になるように、班の子の意見を聞いて遊びを決めていた班やどの学年も楽しめるルール(チーム編成、ハンデなど)を作っていた班を紹介する。</p>
<p>【困ったこと③】説明が長くて、ルールが伝わらない。</p> <p>説明の時間を短くするために、ルールを紙に書いたり、見本を見せたりするといいよ。</p> <p>同じ遊びを2回続けてやるとルールがだいたい分かっているからすぐ遊べるよ。</p>	<p>□最後まで楽しく遊べていた班に、どうして最後まで楽しく遊べたのかを聞くことで、最後まで楽しめなかった班の参考になるようにする。</p> <p>□2回続けて同じ遊びをすると、ルールが分かりスムーズに進むなど2回続けてやることよさに気付けるように、2回同じ遊びをした班によさを発表する場を設ける。</p>
<p>○次回の縦割り班遊びの計画をする。</p> <p>紙にルールを書いて説明の時に見せると時間がかからないからやってみよう。</p> <p>時間が余った時のために、違うルールのドッジボールも考えておこうよ。</p>	<p>□掲示板などに、遊びやルールをあらかじめ伝えておけば説明の時間が短くなり、すぐに遊びができることを紹介する。</p> <p>□自分たちの解決方法が本当にいいか他学年の感想を紹介することで、もう一度考えることができるようにする。</p>
<p>○本時のふり返りをし、発表する。</p> <p>ルールや遊びを工夫してもっと楽しめる遊びを考えることができたね。次の縦割り班遊びは、他学年にもっと優しく声をかけてみんなが楽しめるように遊びたいな。</p> <p>次はもっとみんなが楽しめる遊びにするぞ</p>	<p>◎縦割り班のみんなが楽しめる遊びになるように解決策を考え、進んで発表することができたか。(話し合いの様子)</p> <p>◎話し合いで出た意見を参考にすることで、前回より班のみんなが楽しめる縦割り班遊びを工夫して計画することができたか。(話し合いの様子・ワークシート)</p> <p>◎話し合いを通して、みんなが楽しくできる遊びを考えることの難しさを感じながらも次の活動への期待を膨らませることができたか。(ワークシート)</p>